



オミナエシ咲く初秋の西の原

空が高く感じられる秋。西の原の草原に寝転がると視界いっぱいに青空が広がり、空に包み込まれたような錯覚さっかくさえ覚えます。

男三瓶山おおびきやま(左)と子三瓶山(右)が並ぶ山容と、その間の扇沢を頂点に広がる扇型の草原は三瓶山を代表する風景です。そこには多くの人が集い、ボール遊びの家族、クロスカントリーコースを走るランナー、グランドゴルフを楽しむグループなど、思い思いに楽しんでいます。季節の移り変わりとともに、さまざま

な草花を見ることができることも西の原の魅力。秋の七草に数えられるオミナエシやナデシコが咲き、一面にススキがたなびきます。この草原の歴史は江戸時代までさかのぼることができ、牛馬を飼う牧野ぼくやとしての利用と火入れなどによって維持されてきました。長い間、草原が受け継がれてきたことで、そこに生息する生き物たちも命をつなぐことができました。目を閉じると、ススキがそよぐ音に混じって秋の虫の声も聞こえてくることでしょう。

鳥根に生息するコウモリ類

鳥根に生息するコウモリ類

県内で10種を確認

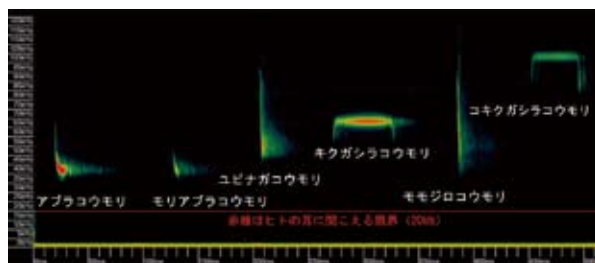
日本全国では35種のコウモリが確認されていて、鳥根県ではその内の10種が生息しています。県別の確認種数としては少なく、中国地方の他県では13~14種程度の確認があります。県内では洞穴棲の種の調査が中心で、森林棲の種の調査が少なかったため、確認数が少ないとみられます。しかし、近年、浜田市と接する広島県側や、吉賀町と接する山口県側で県内未確認種が発見され、県内にも生息している可能性が高まっています。今後、詳しく調査することで、鳥根県での確認数が増えると期待されます。

コウモリ類の音声

真っ暗な洞窟の中に住んだり、夜行性であるコウモリたちは、目の代わりに音を使って生きています。コ

ウモリは口や鼻から人の耳には聞こえない高い音(超音波)を出して、障害物やエサの位置を認識します。この音声はコウモリの種ごとに違って、親子間のコミュニケーションや、異性への求愛用の音声があることもわかっています。

近年では超音波レコーダーと解析ソフトを用いることによって、飛んでいるコウモリを識別する技術が発展しています。



超音波レコーダーの解析例



建物のすき間に集まるアブラコウモリ



キクガシラコウモリ



コキクガシラコウモリ



テングコウモリ



モモジロコウモリ



ユビナガコウモリの集団

鳥根県で確認されたコウモリのうち6種

■紹介■ 秋の企画展 巡回展「ポケモン化石博物館」

人気ゲームシリーズ『ポケットモンスター』には、ふしぎな生物「ポケモン」が登場します。その中には、カセキから復元されたポケモン「カセキポケモン」がいくつかあり、実在した古生物がモチーフになったものもあるようです。

今回の展示では、「カセキポケモン」と私たちの世界で見つかる「化石・古生物」を比べながら、似ているところや異なっているところを発見し、古生物学について楽しく学びます。

「カセキポケモン」の実物大模型が登場

今回の巡回展のために特別に作られた、ポケモンの骨格の想像図や模型が登場します。「ぼうくんポケモン」のガチゴラスの骨格想像模型は、高さ2.5mと見上げるような大きさです。翼竜に似た「カセキポケモン」のプテラやアンモナイトそっくりな「ウズマキポケモン」のオムナイトの模型は、まるでゲームの画面から飛び出てきたようです。



ガチゴラスの骨格想像模型

全国の博物館から集まった化石たち

全国の博物館が所有するさまざまな種類の化石も展示します。北海道産のアンモナイト化石、ティラノサウルス頭骨のレプリカなど、「カセキポケモン」のイラストや模型と比べながら見るすることができます。

秋の企画展 巡回展「ポケモン化石博物館」

開催期間：10月9日(土)～令和4年1月30日(日)



【料金】

大人：800円
小中高校生：200円
未就学児：無料

【主催】

島根県立三瓶自然館、
(公財)しまね自然と
環境財団
国立科学博物館

【企画協力】

株式会社ポケモン

【総合監修】

相場大佑
(三笠市立博物館)

【協力】

三笠市立博物館、群馬
県立自然史博物館、豊
橋市自然史博物館

©2021 Pokémon, ©1995-2021 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリエーターズ・ゲームフリークの登録商標です。

おおだ 秋の風景






秋の彼岸の頃、大田市^{おおや}大屋町を流れる笹川の川土手を彼岸花が赤く染める風景です。奥にそびえる岩は鬼伝承が伝わる^{おにいわ}「鬼岩」。鬼の指跡にみだてられる穴が並ぶ奇岩も、この時期ばかりは主役を彼岸花に譲ります。

以前は、この風景は市内でもほとんど知られていませんでした。しかし、2007年に鬼岩が県の天然記念物に指定された頃から少しずつ知られるようになり、今では時期になると見学や写真撮影に訪れる人の姿がずいぶん多くなりました。地元住民による環境整備も熱心に行われ、文化財指定が地域資源の活用につながった好例となっています。

この風景が見られる頃、大田市では伝統的な「彼岸市」が催されます。通りに屋台が並び、子どもたちの笑顔があふれる日。その光景が再び見られる日を願うばかりです。

 親子で作ろう工作教室 竹の工作	10/3 日 13:00～14:30	竹を切ったり削ったりして作品を作ります。	定員：親子6組 料金：小人100円	要予約
 きつずサンデー☆スペシャル 『LIFEいのち上映会』	10/3 日 ①10:00～ ②11:00～ ③14:30～ ④15:30～	大型ドーム映像『LIFEいのち』の特別上映。バランスボールの体験会もあります。LIFE実行委員会主催。	定員：各回85名 料金：入館料	要予約
 ススキの迷路	10/9 土 ～11/4 木	北の原に広がるススキの草原に迷路が出現。期間中、自由に遊んでいただくことができます。	定員：なし 料金：なし	
 開館30周年記念事業 学芸員の仕事を体験してみよう プラネタリウムを操作しよう	10/10 日 1回目14:00-14:30 2回目15:30-16:00	サヒメルのプラネタリウムを操作して仕組みや役割を学びます。	定員：各回3名 料金：入館料	要予約
 開館30周年記念事業 養老孟司先生講演会	10/17 日 10:00～11:30	医学博士で大ベストセラー「バカの壁」の著者、大の昆虫マニアとしても知られる養老先生の講演会。	定員：80名 料金：入館料	要予約
 ASOBO スラックラインとハンモック	10/17 日 11/21 日 10:00～15:00	北の原キャンプ場のデイキャンプエリアにスラックラインとハンモックが登場。誰でも参加できます。	定員：なし 料金：100円	
 月イチガク⑥ 島根半島四十二浦を歩く	10/23 土 14:00～15:30	入り組んだ湾が連続し、変化に富んだ地形地質と、浦ごとに異なる風習が伝わる島根半島の魅力を紹介します。	定員：20名 料金：大人300円 小人100円	要予約 ONLINE オンライン視聴も可能
 さんべの森たんけんたい 秋の森であそぼう	10/24 日 9:30～14:00	秋の森や草原をおさんぽします。何がみつげられるかな？	定員：親子8組 料金：大人300円 小人100円	要予約 幼児～低学年を含む 家族対象
 熟睡プラネタリウム	11月の日曜日と 11/23 火 15:00～15:45	星がきらめく暗闇と静かな音楽、語りで眠りにいざなう“寝ちゃってもいい”プラネタリウム。	定員：各回85名 料金：入館料	中学生以上対象 28日は不開催
 生物画をかこう！	11/14 日 13:00～15:00	標本をスケールで図ったりしながら、細かく精密に描く技術を学びます。	定員：各回10名 料金：入館料 +100円	要予約
 開館30周年記念事業 学芸員の仕事を体験してみよう 天体望遠鏡を操作しよう	11/14 日 1回目11:00-11:30 2回目13:00-13:30	サヒメルの天体望遠鏡を操作して、仕組みや役割を学びます。	定員：各回3名 料金：入館料	要予約 集合、実施場所とも西の原
 部分月食観望会	11/19 金 17:30～20:00	欠けた状態で昇り始め、大部分が欠けて見える部分月食を観望します。	定員：30名 料金：大人300円 小人100円	要予約
 月イチガク⑦ 火山が埋めた森	11/20 土 14:00～15:30	阿蘇火山の巨大噴火で、火口から遠く離れた場所でなぎ倒され埋まった森。火山の驚異を紹介します。	定員：20名 料金：大人300円 小人100円	要予約 ONLINE オンライン視聴も可能

要予約 このマークがあるイベントは、1ヶ月前から実施する施設ごとに電話で予約を受付します。

 三瓶自然館：0854-86-0500  三瓶小豆原理没林公園：0854-86-9500  三瓶山北の原キャンプ場：0854-86-0152

新型コロナウイルス感染症への対策として、臨時閉館や展示やイベントを一部制限、中止する場合があります。変更の場合は、HP等でお知らせします。また、毎週土曜日の天体観望会は予約制で実施しています。

島根県立三瓶自然館サヒメル

- 開館時間
9:30～17:00
- 休館日
毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日)
7/17～8/31は無休。
※年末年始、その他、メンテナンス休館あり



三瓶フィールドミュージアムニュース <隔月発行>

編集・発行 公益財団法人しまね自然と環境財団
〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8
TEL 0854-86-0500/FAX 0854-86-0501
<エコサがしまね> 〒690-0887 島根県松江市殿町8-3 TEL 0852-67-3262

しまね自然と環境財団は、三瓶自然館等の指定管理者です。
エコサがしまね(松江事務所)では、地球温暖化対策等の事業を行っています。